

教科目名 卒業研究 (Graduation Research)

学科名・学年 : 電気電子工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 8 単位 (前期 2 コマ, 後期 6 コマ, 授業時間 156 時間)

担当教員 : 電気電子工学科 教員

授業の概要			
各教員から提示されたテーマを選択して研究課題とする。なお学生自らが希望するテーマがある場合は、担当教員と内容を十分相談の上、研究課題とすることもある。これまで学んだ知識・技術を基に研究を進め、調査能力、データ解析力、論理的思考能力、問題解決能力、討論能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、作文能力、自主学習能力などを総合的に身につける。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1) (D1), JABEE 目標(d2b) (d2c) (e) (f) (g) (h)	
(1) 社会的要求に端を発した研究の背景を理解し、問題を解決するための手段をデザインし、考えることができる (中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読, 研究への取り組み)。			
(2) 研究に関する知見を収集し、必要な実験・解析を行い、結果を考察することができる (中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読)。			
(3) コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力, 文章表現能力を身に付け、他者との討論ができる (中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読)。			
(4) 研究に自主的かつ継続的に取り組むことができる (研究への取り組み)。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
4 月	1. ガイダンス, テーマ説明 2. 研究課題の決定	1. 「卒業研究の手引き」を参考にする。 2. 担任を中心に調整する。	【理解の度合い】
4-9 月	3. 研究(初期段階)	3. 卒業研究内容は就職面接や入試面接で決まって尋ねられるので、早急に研究の主旨を掴み、説明できるようにする。	
9-11 月	4. 研究(中期段階)	4. 本格的な研究に入る。	【理解の度合い】
10 月	5. 中間報告会(準備および発表)	5. 中間報告会は研究内容を他者に伝える技術を身につけることと、研究の方向性や方法についての他者からの助言や批判により、研究の内容を充実するために実施される。また、中間報告会の概要を英語で記述し提出すること。	
12-1 月	6. 研究(後期段階)	6. 後期中間試験後は最終的なデータまとめと論文作成に入る。	【理解の度合い】
1 月末	7. 卒業論文およびその概要提出 8. 卒業研究審査(準備)	7. 指定された期日までに必ず提出すること。 8. プレゼンテーションの準備をする。	
2 月	9. 卒業研究審査会	9. 最終的な試問による審査を行う。	【理解の度合い】
履修上の注意	各時間の始まりに HR において担任が出欠をとる。研究課題は年度最初のガイダンスで研究テーマの説明を受けて決定する。卒研着手後は、担当教員と相談しながら、各個人が主体的に取り組むこと。また、担当教員に進捗報告や内容確認を定期的に行うこと。日々の取り組み内容は所定の指導記録用紙に記入すること。		【総合達成度】
教科書	大分高専電気電子工学科, 「卒業研究の手引き」		
参考図書	担当教員と相談しながら、各自で探す。		
自学上の注意	自ら考え、自ら実行し、頻繁に担当教員とディスカッションを行うこと。		
関連科目	地域日本文学, 英語, 工学実験Ⅲ, プロジェクト実験Ⅰ(専攻科), プロジェクト演習Ⅳ(専攻科), 特別研究(専攻科)		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について、中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読および日頃の研究への取り組みで評価する。 総合評価は、主査による中間報告会の評価, 主査と副査による卒業研究審査会の評価, 主査による論文査読の評価, 主査による研究への取り組みの評価がすべて合格(60 点以上)である場合に、合格とする。 不合格者には再審査を行う。		【総合評価】 点